

想定した品目

たかな(加工・業務用)

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模	経営・技術の特徴
たかな(加工・業務用)	人	たかな(加工・業務用)	1. 漬物原料用として出荷 2. 定植は半自動移植機利用
	2	a 100 経営耕地面積 水田 100 畑 100	
経営目標		1 農業総収入 1,750 千円 2 農業経営費 1,384 千円 3 農業所得 366 千円	4 1日当たり農業所得 3,524 円 5 1人当たり年間労働時間 415 時間

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有 合	取得価格	耐用 年数	年間 償却額
						千円	年	千円
建物・施設	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60m ²		1	3,240	24	135
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20m ²		1	1,080	24	45
	計					4,320		180
農機具	トラクター	1	20PS		1	1,817	7	130
	動力噴霧機	1	可搬式(5MPa)		1	200	7	14
	管理機	1	6.2PS		1	213	7	15
	トラック	1	1.5トントラック		1	2,199	4	275
	移植機	1	乗用半自動		0.5	315	7	22
	肥料散布機	1	トラクター装着		1	296	7	21
	計					5,039		478

3. 技術体系(たかな:加工・業務用)

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(育苗)は種床準備	は種床	7月下旬～8月上旬	トラクター管理機	1	5	5	は種床 40㎡	日当たりが良く肥沃地で排水の良い畑を選ぶ。 畦1～1.2m短ざく床
は種		8月下旬～10月下旬	トラック	1	3	3	40ミリリットル/10a	条間8～10cmで1～1.2cm間隔で播き、うすく覆土する。その後、寒冷紗を被覆する。発芽したら、速やかに取り除く。
管理	かん水間引き	8月下旬～11月下旬	かん水施設	1	2	2		間引き 8～10cm株間にする。
病虫害防除	薬剤散布	9月上旬～11月下旬	動力噴霧機	1	1	1		県病虫害防除基準による
(本ぼ)耕うん整地	耕起整地	9月上旬～11月中旬	トラクター	2	2	4	堆肥 2t 五島の源 100kg	深耕及び有機質の施用
施肥	基肥施用	9月上旬～11月中旬	トラクター 肥料散布機 背負い施肥機	1	1	1	N 19kg P ₂ O ₅ 19kg K ₂ O 16kg	Nの分施割合 基肥60%、追肥40% 元肥 野菜名人 100kg
	追肥施用	11月～2月						追肥 BBNKC3号 20kgずつ2回
定植準備	耕うん	9月下旬～11月中旬	トラクター	1	1	1		栽植密度 うね幅 × 株間 畑 60～75 40 水田 130 40(2条) ※6～7列毎に通路を作る。 10a当り 3,330株～4,160株
定植		9月下旬～12月上旬	トラック 半自動移植機	2	6	12		本葉4～6枚で定植
かん水		9月下旬～12月上旬		1	3	3		活着のため十分かん水する。(20mm)
中耕除草		10月中旬～12月	管理機	1	4	4		
病虫害防除	薬剤散布	10月中旬～3月	動力噴霧機	2	4	8		使用薬剤及び使用方法は県病虫害防除基準による。
収穫	切り取り	12月中旬～3月下旬	トラック	2	10	20		漬け込み時の葉柄の折れを防ぐため、収穫後、圃場で十分に乾燥を行う。(丸1日半以上)
出荷	積み込み	12月中旬～3月下旬	トラック	2	8	16		
後かたづけ	ほ場環境浄化	12月中旬～3月下旬	トラクター	1	3	3		
計						83		

4. 品目の作付体系(○は種、△定植、□収穫)

品目(作型)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
たかな(加工用)								○	○			△	△	

